

グエン・カック・ホア (バリトン)

Nguyen Khac Hoa

1993年ベトナムに生まれる。フエ音楽アカデミー(ベトナム)を卒業後、2015年にモスクワ州立芸術文化大学へ進んだ。2019年からグネーシン音楽アカデミー修士課程においてM.V.ヤネンコに師事した。これまでに、モルドバ国立音楽コンクールグランプリ(2015、モルドバ共和国)、「アディゲの星」国際コンクールグランプリ(2016、アディゲ共和国)、「歌に生き」国際声楽コンクールファイナリスト(2017、チェコ共和国)、「ペラ・ボーチェ(美しい声)」国際声楽コンクール第2位(2018、ロシア連邦)をはじめ、数々の国際コンクールで優勝、入賞を果たす。



フランチェスコ・チポレッタ (ピアノ)

Francesco Cipolletta

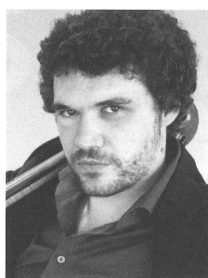
1970年サンセヴェリーノ(イタリア)に生まれる。イタリア国立トリノ「ヴェルディ」音楽院を経てフィエゾレ音楽院にて研鑽を積む。ブゾーニ国際ピアノコンクール(1989年)第3位を始め、数々の国際コンクールで上位入賞を果たす。2004年よりボローニャ・フィラルモニカ・アカデミー協会会員。現在、クローネオ音楽院で後進の指導にあたるかたわら、世界中で精力的に演奏活動を行う。



アンドレア・ベルティーノ (ヴァイオリン)

Andrea Bertino

1994年ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院(ミラノ)を卒業。モンカリエーリ全国コンクール、オヴァダ全国音楽コンクールをはじめ数々の国内、国際コンクールで入賞を果たす。これまでに、イタリア国内をはじめ、ドイツ、フランス、ポーランド、ロシア、オーストリア、スイス、カナダ、メキシコ、エクアドル等、世界中でソリサイタルや室内楽コンサートを行った。また、アレクサンドリア音楽院「アントニオ・ヴィヴァルディ」管弦楽団をはじめ、数多くのオーケストラでコンサートマスターを務めた。また、ジャズや現代音楽等、演奏領域は多岐に亘る。



ジャック=ピエール・マラン (チェロ)

Jacques=Pierre Malan

南アフリカ共和国に生まれる。2016年、ピーボディ音楽院(アメリカ)で修士号を取得した後、アメリカ音楽界への貢献の継続を目的に、ミッドアトランティック交響楽団へ招聘された。これまでに、ソリストとしてクワズール・ナタール交響楽団、ヨハネスブルグ交響楽団、ケープタウンフィルハーモニー管弦楽団、ピーボディ・コンダクターズ・オーケストラをはじめ数多くのオーケストラとの共演をこなした。現在、メリーランド州ボルチモアを拠点としてアメリカ国内や南アフリカ共和国等で精力的な演奏活動を行う。



アレクサンドル・ゾロタレフ (ピアノ)

Alexander Zolotarev

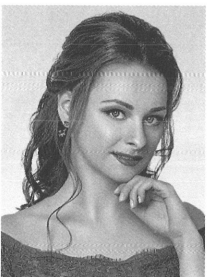
サンクトペテルブルグ(ロシア)に生まれる。5歳でピアノを弾き始め、サンクトペテルブルク音楽院を経て、ケルン音楽大学(現ケルン音楽舞踊大学)で更なる研鑽を積んだ。ロシアやイタリアをはじめ数多くの国際コンクールで入賞歴がある。1991年にシュレースヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭に招待され、ドイツ連邦共和国大統領の前でリサイタルを行った。ドイツ移住後、1999年から現在までゾーゲン大学で教授を務める傍ら、ドイツ国内をはじめ、ヨーロッパ各国やアメリカ等で精力的な演奏活動を行う。また、2001年からシュマレンベルクの室内楽フェスティバルの芸術監督を務める。



フォルカー・ツヴェチュケ (ピアノ)

Volker Zwetzchke

旧西ドイツに生まれる。幼少からピアノを学び、ベルギーの作曲家、ジャクリーヌ・フォンテインの助言により演奏家への道を選んだ。デトモルト音楽大学卒業後、アイナル・ステーン=ノックレベルグに師事し更なる研鑽を積んだ。また、同時期に、ヴェストファーレン・ヴィルヘルム大学で哲学を学んだ。1996年から2011年までピアノデュオ「INVIA」のメンバーとして活動し、第6回グリーク国際コンクール(オスロ)において、第一位(オスロ賞)、グリーク賞、聴衆賞、スポンサー賞の4賞を受賞した。現在、後進の指導を続ける傍ら、ヨーロッパを中心に世界各国での演奏活動や国際コンクールの審査員を務める等、精力的に活動している。



スターシャ (ソプラノ)

STasha

モスクワに生まれる。モスクワ音楽院アカデミック音楽カレッジを経て、グネーシン記念音楽アカデミーでクズネツォワ氏に師事した。ミュージック・ウィズアウト・リミッツ(2013、リトアニア共和国)第1位入賞、ミュージカル・パフォーマンス・アンド・ペダグギー(2014、イタリア)第1位入賞等、数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。2011年からグネーシン劇場のオペラスタジオでソリストを務めた。ロシア国内をはじめイタリア、フランス、ドイツ、スイス、カザフスタン、ベトナム、日本等、世界中で精力的な演奏活動を行っている。大の親日家であり、2015年の初来日以降41道府県76市町村に於いて延べ約150公演を行った。また、2021年に「日本大好きスターシャ」としてYouTubeチャンネルを開設し、童謡、唱歌、都道府県歌、演歌、歌謡曲等、日本文化を広く発信している。

クラシックって楽しいな!

(2015~)

当協会では、より多くの皆様にクラシック音楽を身近に感じて頂くことを目的に、クラシック音楽に関連する面白い情報を掲載したパンフレットを作成し、日本全国約1,250箇所の音楽ホールや当協会主催事業等の会場、当協会のホームページ(<http://www.imea.or.jp/>)を通じて広く国民の皆様に配布しています。このパンフレットは宝くじの公益法人助成事業(社会貢献広報事業)として一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けています。



日本大好きスターシャが

うた
歌って
みた!

YouTube で公開中!

STasha

